

令和8年(2026年)5月26日

修理成果報告講演会 「文化財修理の現場—よみがえった井伊家伝来楽器—」を開催します

このたび、彦根城博物館において、みだしの講演会を開催しますのでお知らせします。つきましては、広報についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 主旨

日本の美術工芸品や古文書などの文化財は、木や紙、布などの劣化しやすく脆弱な素材で作られています。その劣化を可能な限り食い止め、適切な修理を施して後世に伝えていくことは、現代に生きる私たちの責務です。

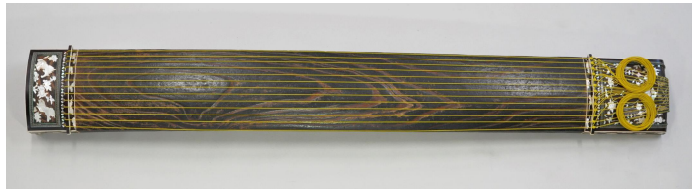
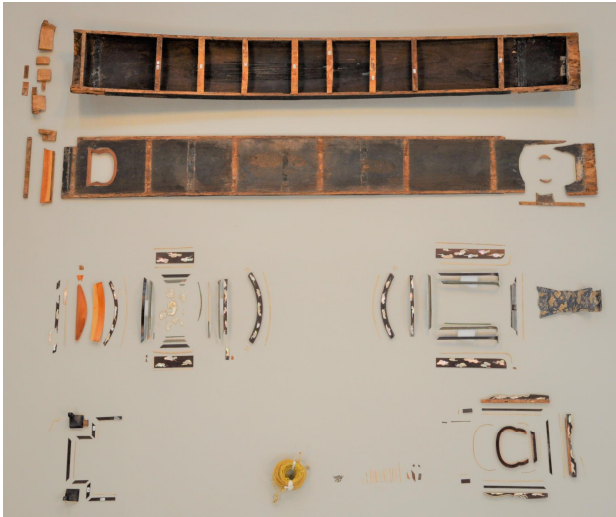
当館ではこれまで、井伊家に伝来したさまざまな文化財の修理を行ってきました。中でも平成6年(1994年)以来、長年にわたって修理を実施してきたのが楽器です。

井伊家伝来楽器のほとんどは井伊家12代直亮(1794~1850)が収集したもので、日本を代表する楽器コレクションのひとつです。しかし、その多くは経年により損傷し、特に絃楽器は部材がばらばらになるなど、展示不可能なものが大部分を占める状態でした。これを受けて、平成6年度より修理を開始し、令和7年(2025年)度までに計110件の修理を完了しました。楽器は主に木を素材とする文化財であることから、木材の修理に精通し専門的な技術を有する公益財団法人美術院に、開始以来、修理を委託してきました。

本講演会では、長年この修理に携わった担当者を招いて、修理の内容や方法などについて具体的にお話いただきます。本講演会を通して、文化財修理とはどのようなものなのか、またその難しさや課題、そして意義について、一層理解を深めていただこうとするものです。



そう 箏の装飾の接合作業 (片山 毅 氏)



写真左：修理前の箏^{そう}

写真上：修理完了後の箏

2 日時

令和8年(2026年)7月4日(土) 午後2時～3時40分

3 講師

かたやま たけし
片山 毅 氏 (公益財団法人美術院 京都国立博物館工房長)
いばら き え み
茨木 恵美 (彦根城博物館学芸員)

4 会場・費用など

会 場：彦根城博物館 講堂 (彦根市金亀町1番1号)

定 員：50名 (当日受付・先着順、受付は午後1時30分から)

資料代：100円

※展示の観覧には別途観覧料が必要

一般：700円 (560円)

小・中学生：350円 (280円) () 内は30名以上の団体割引料金

*常設展「“ほんもの” との出会い」も併せてご覧いただけます。

5 その他

- ・講演会の開催に併せ、楽器の修理成果を紹介する特集展示を当館展示室で開催します。
※特集展示の詳細は別途お知らせします。
- ・開催について変更が生じた場合は、彦根城博物館ホームページでお知らせします。

問い合わせ先

彦根市教育委員会事務局

彦根城博物館 学芸史料課

担当：茨木 恵美

電話：0749-22-6100

E-mail：museum@mx.hikone.ed.jp